

新風館

京都
らろつきまわりんく

SHIN-PUH-KAN

京都の中心、烏丸御池近くに位置する新風館。その成り立ちは、伝統と革新の共存する街、京都を代表するものであるといえよう。

新風館の原形となる京都中央電話局が建築されたのは1926年（大正15年）。日本における近代建築のパイオニアである吉田鉄郎の手による、当時の技術の粋を集めたものである。その歴史的価値の高さから京都市の登録有形文化財に指定されるなど、歴史ある京都の街を象徴する建造物の1つである。

そして2001年、京都の活性化という目的のもと、この歴史的な建造物を増改築することで新風館が誕生した。「伝統」と「革新」の融合と対比をテーマにしたこの施設は、歴史を感じさせる旧館と進歩的な新館とが共存し、さらにそれらが趣向を凝らした大階段や回廊により有機的に結びついている。その独創性が高く評価され、新風館は数々の賞を獲得し、また毎日多くの人が訪れる人気のスポットとなっている。

新風館は商業施設としても非常に個性的である。たとえば中庭のホールでは、ライブやコンサート、ファッションショーなどさまざまなイベントが行われている。このように多様なイベントが開催できる商業施設は、全国でもごくわずかだそう。

流行の最先端に行く店舗が立ち並ぶ現代的なスポットでありながら、歴史を感じさせる文化財としての側面を持ち、さらには情報発信型の独創的な施設でもある新風館。歴史ある街としての古典的な京都に関心を持つ人も、学生の街としての現代的な京都に心惹かれる人も、きっと満足するだろう。（aNa）



上. ライトアップされた夜の新風館。中庭ではさまざまなイベントが開催される
右. 新風館（旧館）の外観。重厚な大正建築がレトロな雰囲気を醸し出す
右下. 旧館と新館を結ぶ回廊



御池通	地下鉄 烏丸御池駅	東洞院通	河原町通	鴨川
姉小路通				
三条通	新風館 烏丸御池駅 5番出口			
六角通				
四条通	阪急烏丸駅			

ACCESS

- 地下鉄烏丸御池駅5番出口より徒歩1分
- 阪急烏丸駅より徒歩5分
- 京大より自転車約20分（駐輪場あり）

MEMO「新風館基本データ」

- 1月の休館日 : 1日(木)・20日(火)
営業時間
{ ショップ : 11:00~20:00 (金・土・祝前日21:00まで)
{ レストラン : 11:00~23:00 (ラストオーダー22:00)
ホームページ : <http://www.shin-puh-kan.com/>
電話番号 : 075-213-6688

はみだし
すてーじ

紅葉したい。
⇒枯れない程度にどうぞ。

(法・3へも)
(土に還りたい;編)